

藤波こども園

園長だより

No. 69

令和3年3月24日
文責 竹原 篤



FUJINAMI
KODOMOEN



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

卒園児の皆さん 保護者の皆様 おめでとうございます。

今年度の卒園式も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、短時間で来賓の皆様が式場におられない、また、在園児の見送りのない卒園式になりました。しかし、コロナ禍でも園児一人一人に修了証書を渡せることに感謝しています。

卒園していく皆さんへ 卒園児の皆さんのよいところはたくさんありますが、特にまわりの人を思いやることができるのと、自分の思いをしっかりと表現できるところが素敵です。年中の星組さんや年少の花組さんの子どもたちに対する優しい気持ちはもちろん、仲間で話し合ったり、力を合わせたりする姿は本当に素晴らしいと思います。小学校へ行っても、こども園で仲間と共に学んだことを忘れずに続けていってください。

保護者の皆様へ 思い出してみてください。この子どもたちが入園した頃のことを。毎日園に行けるだろうか、まわりの子と一緒にやっていたらだろうか、泣いたり怒ったり喜んだりしていた姿がたくさん思い浮かぶのではないのでしょうか。子どもたちはこんなに大きくなりました。『生まれてきてくれてありがとう。ここまで大きく育ててくれてありがとう。』と親として感謝する気持ちを忘れず、これからも『怒らない、許す、待つ、認める、聞く、信じる』の心で子どもたちを見守ってやってください。いっぱい受け入れてもらった子どもたちは、いっぱい受け入れる力を蓄えています。安心という心のタンクを満たされた子どもたちは、しんどいときも耐える力があります。そして、まわりの子どもたちに対してもやさしく理解を示してくれます。まわりの大人たちにいっぱいしてもらったことはそのまま子どもたちが同じようにしてくれています。

園で多くの体験活動を通して学んだこと、特に「優しい心」をもっともっと大きくしていってくださいね。



最後のお弁当デー

各ホームで年長・年中・年少のみんなと一緒に食べる最後のお弁当デーの様子です。年中は「いよいよ自分たちがリードする立場になるんやな！」年長は「これからは年中のみんなに任せるぞ！」という場面もみられました。各ホームで「年長さんはかっこいいな」「あんな風になりたいな」と。このような子どもの思いを意識しながら、日々のホームでの活動に取り組んできました。



藤波こども園 子どもたちを型にはめ込まず、子どもたちの思いを中心に『信じる 任せる 見守る せかさない 待つ 聞く 認める 許す 怒らない』を大切に子どもたちの自由な発想を伸ばしていきたいと考えています。また、もっともっと子どもたちの力を信じて、「こども園での活動自体が楽しく、子どもたちが夢中になっている間にいろいろなことができるようになり育っている」というような保育を続けていきたいと思えます。



🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

手作りおもちゃ
下小川区
卒園児様

お知らせ

高島市役所より地域へのおたより配布終了のお話をいただき、今年度をもちまして「園長だより」の回覧を終わらせていただくことになりました。青柳小学校区や本庄小学校区・西万木区の区長様・自治会長様・組長様におかれましては長い間「園長だより」の回覧にご協力していただき感謝しています。本当にありがとうございました。なお、来年度からは本園保護者様のみの配布となりますが、ホームページへの掲載につきましては、今まで通り園長だより等をアップさせていただきますのでご覧いただくとありがたいです。これからもよろしくお願いたします。